

時間	3月4日配信内容	左記に対する事実経過について
5:55～	<p>ニセコ町令和7年度予算案について</p> <p>予算のほとんどが箱物代。ニセコ町は公共施設総合管理計画を無視し、公共施設をたくさん建てている。人口一人当たりの公共施設面積は、平均の5倍ある。</p>	<p>最新の公共施設総合管理計画では、総量としての施設数・規模等については、今後の人口推移（人口が維持・微増）から全体として現状を維持・継続していくこととしておりますが、住宅不足や年少人口の増加など、町の将来に向けた喫緊の課題を解決するため必要な整備を進めているところです。</p> <p>現在本町は、過疎法の適用を受け、国から有利な財政支援（過疎債）を受けていますが、近年は人口微増傾向にあり、7年後には過疎地を卒業するとともに有利な財政支援は受けられなくなります。このため、過疎法の適用期間に、必要なハード事業（箱物）について集中して進めています。</p> <p>人口一人当たりの公共施設面積は、全国平均の5倍となっておりますが、人口規模の小さな自治体ほど一人当たりの公共施設面積は増える傾向があり、類似団体に比較した場合、決して高い数値ではないと認識しています。</p> <p>*3月7日配信において、人口一人当たりの公共施設面積「全国平均の5倍」は当町の公共施設総合管理計画を参照しての発言であったことについては、配信で触れられている通りであり、当町よりお送りした内容が誤っておりました。</p>
21:17～	<p>ニセコ高校寮について</p> <p>受入れ体制が整ってないのに、生徒定員を40人から70人に増やしており、急いで箱物を作っている。2024年9月、基本設計が出ていないのに、寄宿舎を建てるための予算12億円の補正予算が出た。実施設計を今作っている段階である。議会は図面も見えず、生徒が入ることを前提に可決している。</p>	<p>ニセコ高校寮については、新寮と臨時寮の2つがあり、本件は新寮の話と認識しております。議会議員に対し、2024年8月27日政策案件説明にて基本設計図面を共有し、今後のスケジュール及び補助金・過疎債の財源を含めた説明を実施しています。</p> <p>その後、9月4日から開催された9月議会定例会にて実施設計予算を計上。基本設計の契約期間は9月10日までではあるものの、議会開催日の設定は、議会側の日程調整による部分もあり、その議会前の8月27日に（議会事務局が調整した日に）最善を尽くした説明資料を作成し、図面も用いて説明をしました。</p> <p>2024年12月24日まちづくり町民講座（ニセコ高校新寮建設の実施設計完了に向けて）の開催を議会において周知し、併せてYouTubeニセコ町公式アカウントで配信を行っています。</p>
25:07～	<p>町債の返済計画がないことについて</p> <p>起債の計画があるが、返済計画がない。高校寄宿舎にかかる12億のうち、半分を国の補助金申請している。補助金が出なければ過疎債を使用する（7割交付金で返ってくる）。</p>	<p>起債については、何年にいくら返済するかは財政シミュレーションをしています。</p> <p>また、令和6年度のシミュレーション内容は、9月議会定例会前の8月27日に行われた政策案件説明にて全議員に説明しています。</p> <p>高校寄宿舎については、補助金の交付決定があれば、補助金と過疎債の両方を使用します。補助金が無ければ全額過疎債を使用するという説明を全議員に実施しております。</p>
27:28～	<p>新寮の工事について</p> <p>工期を18か月から12か月へ短縮している。12億の建物を9か月で作ろうとしている。教育長の事務的ミスがあったのか2度確認したが、ミスはなかったと回答があった。</p>	<p>工期は、16か月を11か月弱にすることを想定しています。3か月の冬季自主施工期間を取り止め、工事を実施し、残り2か月程度の工期圧縮をECI提案により採用しています。</p> <p>※ECI提案：実施設計段階から施工業者の優れた技術と経験を取り入れることにより、コスト縮減や工期短縮が見込める工事発注方式</p>

時間	3月4日配信内容	左記に対する事実経過について
33:10～	<p>町の財務管理能力について</p> <p>財政は機能不全。議会の予算審議も今それが 必要か、必要でないか、で可決されている状態である。</p>	<p>町では、財政シミュレーション、予算管理もしっかり行っており、議会も日程を取り、審議されています。</p>
49:10～	<p>ニセコ高校のランニングコストについて</p> <p>定時制から全日制に変わるので教員を20人増やすが、費用はニセコ町が負担するようになる。毎年何千万円とランニングコストがかかる。</p>	<p>教員増は最終的には10名程度で、教員増は、農業科40名（1クラス）から、総合学科70名（特例2クラス）に起因するものです。定時制から全日制により、これまで道で負担していた教員の人件費を町で負担することとなるが、国からの交付税等の支援があり、人件費すべてを町の単費で賄うものではありません。この内容は、これまでの政策案件説明会で議会へ説明済みです。</p>
53:10～ 1:22:58～	<p>ニセコ町議会、議員について</p> <p>他町議は居なくなってほしい。機能していない。議会は、11月は出勤無し、12月は2回出勤、1月は新年会が2回（税金負担）、2月は3回出勤、3月は6回出勤。これで月20万円弱くらい報酬をいただく。</p>	<p>新年会（飲食費）は税金からではなく、議員個人会費の積立金から出しています。</p>
1:02:49～	<p>役場のシステム費用（保守費）について</p> <p>年間5,000万円～6,000万円になっている。もっと安くできる。システムなので、年間2,000万円程度でできる。町村は、大手企業と契約していない。</p>	<p>さまざまな経費（システム保守、サーバー及びクラウド利用、専用回線利用など）が合わさっており、年間総額は約4,000万円です。</p>
1:48:00～	<p>ニセコ町動画配信について</p> <p>動画を拡散・告知するために切り抜き動画を作ってSNSで発信していたが、動画配信を止められた。</p>	<p>ニセコ町議会では、2024年5月から録画配信を行っています。</p> <p>録画配信にあたっては規程を定めていますが、規程では、著作権の関係から、議員個人等が動画を使用する場合には、議長の許可を取ることとなっています。しかし、許可を取らずに動画を加工して使用していたため配信を中止しました。</p> <p>規程は、町HPに掲載  <a href="https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/gikai/gikaidou/">https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/gikai/gikaidou/</a></p>